

# 一般質問通告者一覧表（9月8日）

令和4年第3回東広島市議会定例会

発言順	通告者	質問要旨	答弁者	発言時間
1	北林 光昭	1 東広島市生涯学習の今後の展開について	市長 副市長 教育長 担当部局長	35分
		(1) まなびのキャンパス推進事業における行動計画策定の方法について 本市生涯学習の今後の展開のベースとなる「まなびのキャンパス推進事業における行動計画(素案)」が、令和4年8月18日の文教厚生委員会で示された。教育委員会生涯学習部を中心に行動計画が作られていく中で、各部局との連携が盛んに強調もされ、調整後、立派な計画が作られるものと期待もしている。 ア 計画策定に係る部局間連携の具体的な方法について イ 教育委員会生涯学習部が果たす司令塔の役割について ウ 計画策定に係る社会教育主事の果たす役割について		
		(2) 計画における市内ホール施設の役割について 今後、「くらら」を除く市内4つのホールについて各施設の特徴に応じた施設運営を行うとされ、黒瀬・豊栄・安芸津の生涯学習センターの管理運営方法が検討される中、まず各施設の実態把握に努めて欲しい。 ア くらら以外のホールの当初設立目的と稼働実績について イ 管理運営方法検討の中心的な考え方は何か。 ウ 管理運営方法と施設の維持補修・機能強化との関係はどのようなものか。		
		(3) 生涯学習を展開する施設について 生涯学習推進の中心施設は地域センターであるものの、類似施設で行われている学習活動については、どうしても活性化が難しい。この格差解消を図る必要がある。 ア 地域センター類似施設とされる集会所等の活動実態をどのように検証したのか。 イ 生涯学習中心施設は地域センターだが、地域センターがなく、活動実態の見えにくい地域センター類似施設での生涯学習を、具体的にどのように進めるのか。 ウ 令和3年3月策定の東広島市公共施設の適正配置に係る実施計画において、生涯学習を推進するための施設がない地域について、新たに施設建設を行わないという方針だが、これは学習環境の地域間格差を容認するということになる。このことに対する見解を聞く。		
		2 選挙への取り組みについて		
		(1) 新たな取り組みの検証結果について 参議院議員選挙が7月10日に行われ、本市の投票率アップへの取り組みや事務改善等について、期日前投票所の開設時間の均一化や、当日投票所の開設時間繰り上げ等、様々な取り組みが成されている。その現状分析を十分に行う必要がある。 ア 大型商業施設への期日前投票所設置の効果をどのように分析したのか イ 期日前投票所の開設日時の統一化による投票数の変化について ウ 当日投票所の投票時間の1時間繰り上げによる影響の有無について エ 投票所へ子どもを同行させる取り組み実施の効果について		
		(2) 従来からの検討課題について 令和3年第4回定例会で検討すると答えられた内容について、その後の経過はどのようなになっているのか、確認が必要である。 ア 投票区の見直しと公営ポスター掲示場の見直しに係る検討結果について イ 市内3大学での期日前投票所開設のあり方について		
		(3) 今後の取り組みについて 全国の先進事例、本市の取り組みの強化等、現状を打破していく地道な取り組みに対してどのように考えるのか。 ア パースデーレーター(東京都文京区)の取り組みについて イ 「少年議会」(山形県遊佐町)の取り組みについて ウ 投票所に子どもを同行させる仕組みの今後の展開について		

# 一般質問通告者一覧表（9月8日）

令和4年第3回東広島市議会定例会

発言順	通告者	質問要旨	答弁者	発言時間
2	貞岩 敬	1 学校教育について	市長 副市長 教育長 担当部局長	35分
		(1) 教職員の労働状況について 8月18日付の中国新聞において、教員の半数が休憩時間ゼロの実態があることが報じられている。また非正規教員が増えていることが教員の負担増になっていることも報じられている。		
		ア 本市の小中学校において、休憩時間ゼロといった実態があるのか伺う。		
		イ 本市の小中学校において、定員内で非正規教員を雇用している実態があるのか伺う。		
		ウ 教職員の労働条件は子どもの教育条件と考える。教職員の負担軽減のためにどのように取り組まれているのか伺う。		
		(2) 学校支援センターについて 今年度よりこれまでのスクールサポートセンターを改組し、学校支援センターがスタートした。採用5年目の教員を対象に伴走型の支援を行っていくとのことである。		
		ア 現段階で、何人の教員を対象にどのような支援を行っているのか伺う。		
		イ 事業推進にあたって学校支援センターの体制は十分か伺う。		
		ウ この事業が教員の負担軽減になっているか伺う。		
		2 西条第二地区の地区計画等について		
		(1) 西条第二地区の地区計画について 西条第二地区において、都市計画道路西条中央巡回線の工事が着々と進められ、地域住民の期待が高まっている。近年、この地域は新築住宅が次々に建てられ、田畑がなくなっていくため、大雨の際は道路が冠水する状況もみられる。		
		ア 西条第二地区の進捗状況および完了予定はいつか伺う。		
		イ 西条中央巡回線および寺家中央線は道路に雨水管が埋設され、浸水被害を防ぐ効果が期待される。早期に完成させることができないか伺う。		
		(2) 県道飯田吉行線について 県道飯田吉行線の未開通部分のために、現在、龍王小学校北側の道路は朝夕に大渋滞がみられる状況で、子どもの通学の安全が懸念されるところである。		
ア 県道飯田吉行線の未開通部分についての進捗状況および完了予定はいつか伺う。				
イ 県道飯田吉行線の磯松工業団地までのめどについて伺う。				

# 一般質問通告者一覧表（9月8日）

令和4年第3回東広島市議会定例会

発言順	通告者	質問要旨	答弁者	発言時間
3	池田 隆興	1 治水対策における地域別計画の策定について	市長 副市長 教育長 担当部局長	35分
		(1) 東広島市の治水対策における地域別計画の策定について 第五次東広島市総合計画の中で地域別計画が定められていますが、同じ様に、地域別に治水対策の計画を策定していく必要があると考えます。		
		ア 流域治水対策の今後の進め方について 第五次東広島市総合計画の中で、旧町単位ごとに地域別計画を策定され「安心づくり」の中では、災害に強い地域づくりの推進を掲げ、河川改修の促進などの取り組みが謳われております。 今後、市域全体の浸水や災害が発生している箇所において流域全体で取り組む治水対策をどのように進めて行こうとされているのか所見を伺います。		
		イ 地域別の具体的な流域治水対策の計画策定について 今後、災害や浸水による被害が頻発している場所については、地域の人と一緒に現地を歩いて、地元の意見を参考にしながら、第五次東広島市総合計画の地域別計画が住民自治協議会等にご意見を頂きながら策定されたように、具体的な治水対策を進めるための地域別計画を策定する必要があると考えますが、市の考えをお聞かせください。		
2 企業誘致について				
		(1) 積極的に企業の誘致を行うことについて 本市の更なる発展のためには、企業の誘致が必要です。本市には、まだまだ未利用地があるので、積極的に優良企業を誘致すべきだと考えています。		
		ア 本市として、企業を誘致するためには、その受け皿である産業団地の確保が必要と考えますが、現在、民間が遊休地等を活用して工場等を建設する場合、本市では、「産業用地開発助成金」の制度がありますが、その活用状況について伺います。		
		イ 産業用地の整備に向け本市として、今後、国や県と、どの様に連携されようとしているのか伺います。		

# 一般質問通告者一覧表（9月8日）

令和4年第3回東広島市議会定例会

発言順	通告者	質問要旨	答弁者	発言時間
4	宮川 誠子	<p>1 教育について</p> <p>(1) 市場教育長の所信を問う 前教育長の退任に伴い、本年度より市場氏が教育長に就任された。改めて、市場教育長の本市教育にかける思いを伺う。</p> <p>ア 市場教育長の所信を問う。</p> <p>(2) 日本の教育は基本的に成功している 日本の教育については、国際比較による学力の低下など懸念する点は多々あるものの、基本的には成功していると考えており、そう考える根拠と成功している原因についての認識を示して、所感を伺う。</p> <p>ア 日本の教育の根幹には武士道がある。</p> <p>イ 自分の国に誇りを持つ子どもたちを育てるために</p>	市長 副市長 教育長 担当部局長	35分